

第161期 報告書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

やさしさの先にある未来を見つめて



株主の皆様へ Top Message

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は2026年3月31日をもちまして

第161期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)を終了いたしましたので、その概況についてご報告申し上げます。

取締役社長

高口 彰



当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や堅調なインバウンド需要を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、依然食料品やエネルギー価格を中心とした物価上昇が継続し、消費者マインドが抑制を受け実質では個人消費の持ち直しに足踏みが見られ、国内の政治動向や政策の不透明感、日中関係の悪化による政治・外交での緊張の高まり等の影響も含め、今後の国内景気の下振れが懸念されます。世界経済においては、欧米における堅調な個人消費や新興国の経済成長が下支えとなり緩やかな回復基調は見られるものの、米国の通商政策の影響や中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の高騰、中国での景気減速の長期化等先行きは依然として不透明な状況が続くと見込まれます。

このような状況のもと、当社グループは引続き各部門において収益改善に取り組んでおりますが、食品事業の販売不振、中国販売の不振や原燃料価格の高騰等に伴うコスト面の上昇が長期化し、販売面・利益面共に苦戦が続いております。

この結果、当社グループの当連結会計年度の業績は売上高2,891百万円(前年同期比15.1%減)、営業損失23百万円(前年同期は営業利益235百万円)、経常損失229百万円(前年同期は経常利益6百万円)、事業撤退損364百万円の計上等もあり親会社株主に帰属する当期純損失461百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益300百万円)となりました。

以上の状況を勘案し、誠に遺憾ではありますが、普通株式及びA種優先株式に係る期末配当金につきましては無配とさせていただきました。今後は更なる収益改善に向けて邁進する所存でありますので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

当社を取り巻く環境は、依然として厳しい環境ではありますが、新たな販売ルートや、生産拠点を確保し、品質・価格への対応ができるよう対策を進めております。

また、環境対策を主とした開発も、様々な協力会社との連携も進み、収益構造の確立に向け、大きく前進しております。

2026年3月16日に発生したサイバー攻撃によるシステム障害の影響により、決算報告が遅れ、株主様には大変ご心配と、ご迷惑をおかけいたしました。今後とも皆様方のご期待に沿えるよう、全社一丸となって取り組み、邁進する所存でございますので、変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

セグメント別業績 & トピックス



繊維部門

繊維部門につきましては、売上高1,402百万円(前年同期比17.0%減)、セグメント損失133百万円(前年同期は129百万円のセグメント損失)となりました。

Topics

環境配慮製品によるナショナルブランドの強化

ナショナルブランドとして展開している、事務所等で使用するタオル・雑巾・スリッパなどの家庭用品に加え、新たに衛生消耗品として使い捨て不織布ペーパータオル及び、除菌機能を備え、環境負荷低減を目的としたサステナブル原料のバガスパルプを使用した使い捨てペーパータオルを発売開始し、更なる販売拡大を推進してまいります。



不動産部門

不動産部門につきましては、売上高1,047百万円(前年同期比15.5%減)、セグメント利益656百万円(前年同期比22.6%減)となりました。

Topics

長野県飯田市 工場跡の敷地&建屋賃貸事業 安定収益物件として貢献中!

かつて当社のニット生地生産の一大拠点であった「ミカレディ飯田工場」は、2009年の操業休止以降、工場建屋を活かし、総合物流倉庫として、賃貸事業に取り組んでまいりました。

現在は、工場建屋のほぼ全域を賃貸し、地元企業に活用いただいております。今後も、安定収益物件として、取組みを進めてまいります。





その他部門

その他部門につきましては、売上高331百万円(前年同期比3.4%減)、セグメント利益10百万円(前年同期比105.1%増)となりました。

Topics

システムインテグレーションで社会に貢献する

ソリューション部門では、製造業向け、医療機関向けIT分野で、顧客の要求に応じたシステム開発を中心とし、運用もサポートする業務を行っております。製造業向けでは、ビルの空調等の管理、船舶や陸上の冷凍倉庫の管理、医薬品プラントの製造、製缶工場等の製造、生産管理等の多種多様な分野のシステムを手がけております。医療機関向けでは、外来患者の院内の案内(誘導)システムや精算システムの提供を行っております。これらのシステムによってお客様の生産、作業の効率化や労働力不足、高齢化社会への貢献を目指しております。



開発部門

Topics

新技術の事業化に向けて

新たに進めております、乾式プロセスによる紙・不織布の多層構造立体成形技術と試作品について、2026年5月の「紙加工技術展」に出展いたしました。

今展示会では多くの企業と接点を持ち、貴重なご意見やニーズを収集することができました。得られた知見をもとに、さらなる用途拡大や製品開発を進めてまいります。

今後は食品・化粧品包装分野に加え、産業用途や輸送資材分野への展開も推進いたします。



連結貸借対照表(要旨)

科 目		当連結会計年度末 (2026年3月31日現在)
(資産の部)	流 動 資 産	1,414
	固 定 資 産	13,768
	有 形 固 定 資 産	12,998
	無 形 固 定 資 産	0
	投 資 そ の 他 の 資 産	770
	資 産 合 計	15,183
(負債の部)	流 動 負 債	8,169
	固 定 負 債	5,577
	負 債 合 計	13,747
(純資産の部)	株 主 資 本	1,399
	その他の包括利益累計額	36
	純 資 産 合 計	1,435
	負 債 純 資 産 合 計	15,183

連結損益計算書(要旨)

科 目		当連結会計年度 (2025年4月1日から2026年3月31日まで)
売 上 高		2,891
売 上 原 価		1,713
売 上 総 利 益		1,177
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,201
営 業 損 失		23
営 業 外 収 益		32
営 業 外 費 用		238
経 常 損 失		229
特 別 利 益		42
特 別 損 失		495
税 金 等 調 整 前 当 期 純 損 失		682
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		2
法 人 税 等 調 整 額		△223
当 期 純 損 失		461
親会社株主に帰属する当期純損失		461

会社の概況 (2026年3月31日現在)

設 立	1917年(大正6年)8月13日
資 本 金	1億円
主 要 な 事 業 内 容	レーヨン糸・各種混紡糸、各種レーヨン綿、 不織布の加工及び販売 各種タオル・生活用品等の製造・販売 ソフト開発 不動産賃貸・販売、その他
従 業 員 数	101名
主要な事務所	(本 社) 大阪市中央区南本町4-1-1 (東京事務所) 東京都中央区八丁堀2-21-11 (加古川工場) 兵庫県加古川市尾上町池田850
主要な子会社	オーミケンシソリューション株式会社(大阪府) 株式会社宇美フーズ(福岡県) 近絹(上海)商貿有限公司(中国)

役員 (2026年3月31日現在)

代 表 取 締 役 社 長	高 口 彰
取 締 役	大 野 泰 由
取 締 役	廣 田 直 人
取 締 役	竹 前 賢
常 勤 監 査 役	近 藤 武 彦
監 査 役	桑 野 哲 雄
監 査 役	内 本 幸 宏

(注) 1. 取締役廣田直人、竹前賢の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役桑野哲雄、内本幸宏の両氏は、社外監査役であります。
3. 取締役廣田直人、竹前賢、監査役桑野哲雄、内本幸宏の4氏につきましては、東京証券取引所に対し、独立役員として届け出ております。

株主メモ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	4月1日から3ヶ月以内
基 準 日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他必要のある場合はあらかじめ公告して定める日
公 告 方 法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、大阪市において発行する朝日新聞に掲載いたします。 公告掲載アドレス (https://omikenshi.co.jp/ir/ir_notice/)

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
(同 連 絡 先)	T541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎ 0120-094-777(通話料無料)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式の状況 (2026年3月31日現在)

発行可能株式総数	普通株式	24,000,000株
	A種優先株式	11,000,000株
発行済株式の総数	普通株式	6,602,459株
	A種優先株式	2,000,000株
株 主 数	普通株式	3,848名
	A種優先株式	1名

大株主(上位10名)

株主名	持株数			持株比率
	普通株式	A種優先株式	合 計	
東 洋 商 事 株 式 会 社	572千株	2,000千株	2,572千株	29.92%
龍 寶 裕 子	654	—	654	7.60
丸 山 三 千 夫	336	—	336	3.91
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	294	—	294	3.42
竹 甚 板 硝 子 株 式 会 社	200	—	200	2.32
島 津 孝	150	—	150	1.74
株 式 会 社 S B I 証 券	94	—	94	1.10
村 澤 勝	79	—	79	0.91
楽天証券株式会社共有口	68	—	68	0.79
丸 山 光 子	66	—	66	0.77

(注) 1. A種優先株式は、当社定款の定めにより議決権を有しておりません。
2. 持株比率は自己株式(5,356株)を控除して計算しております。